

三水会クラブ Back to School



現地校新学年度開始にあたって



▲セミナーの様子

▲セミナー中のチャイルドケアの様子

8月と言えば、日本では夏休みの最中ですが、ここテキサス州のヒューストンでは、新学期が始まる慌ただしい時期です。学区によっても違いますが、新学期はたいてい8月半ばに始まります。

7月24日に行われたBack to Schoolセミナーでは、ヒューストンで新生活を始めた方々を対象に、現地校新学年度開始にあたって準備すべきことや親としてできることなどをお話させていただきました。今回は、その時にお話しさせていただいた内容をまとめてみました。

初日 (First Day of School) までにやるべきこと

- ◆ 入学手続きを早めに済ませる
- ◆ 学校のSchool Supply リストをもとに、学用品を買いそろえる
- ◆ 初日前のプログラムや説明会 (Meet the Teacher Day や Open Houseなど) に参加する
- ◆ 通う学区 (School District) や学校のHPをチェックする
- ◆ 簡単なあいさつの仕方や学校で必要と思われる英単語を子供に練習させる
- ◆ 学校で使われる英語の用語やフレーズなどを覚える
- ◆ 登下校の手順 (CarpoolやBus stopなど) を確認する

子供のために親としてできること

- ◆ 学校行事やボランティアに積極的に参加する
- ◆ 宿題や課題をチェックし、必要であればサポートする
- ◆ 担任や科目の先生と、日頃からコミュニケーションを取る (EmailやConferenceなど)
- ◆ 授業の内容や子供の成績を把握する
- ◆ 学校の規則 (欠席、早退、届け物、投薬など) を守る
- ◆ 子供の気持ちや意見を受け止め、認めてあげる
- ◆ 子供と向き合い、一緒に過ごす時間を意識的に増やす
- ◆ 家族で問題を解決できない時は、しかるべき所へ助けを求める (学校の先生、医師、カウンセラーなど)

子供の英語力を伸ばすために親としてできること

- ◆ 英語の家庭教師を雇う
- ◆ 読み聞かせをする (日本語または英語で)
- ◆ オンラインプログラムを活用する
- ◆ 家庭内での日常会話は、あえて日本語を使う
- ◆ 親も英語を勉強する
- ◆ 子供の宿題や課題、テスト勉強をできる限りサポートする
- ◆ 子供に、現地校以外の課外活動やアクティビティ (スポーツや音楽など) に参加させる
- ◆ 他の子、または兄弟と比較しない

ESLプログラムについて

- ◆ 入学手続きに必要な書類の一つに家庭言語調査 (Home Language Survey) があり、それに英語以外の言語の記述があれば、生徒は英語能力テスト (English Language Proficiency Assessment) を受ける必要がある
- ◆ 英語能力テストの結果により、英語力が不十分であるとされる場合に、ESLプログラムが提供される
- ◆ ESLの生徒は、他の生徒と同じように普通学級に入るが、受け持ちの先生から言語サポートを受ける
- ◆ ESLの生徒は、毎年春にTELPASを受け、4つの言語領域 (Listening, Speaking, Reading, Writing) における英語の上達度を見る



◀セミナー終了後
お子さまも一緒にお茶会を楽しみながら、講師や先輩ママ達も交えて情報交換の様子

【講師紹介】

ミトラ 華代先生
ヒューストン郊外の小学校教諭として28年間勤務 (ESL専門として18年) 現在はFort Bend ISDの小学校にてEL (English Learner) Specialistとして活躍中

